

「ハクサンイチゲ」の花は小型ですが、全草の大きさ、形、美しさ、また群生する様子を見ると、やはり「立山・剣岳」のお花畑でも、まず主役を演ずる花に間違いのないでしょう。名前の由来は「一華草」の仲間からだそうですが、この花は茎頂に数個の花をつけます。今回、たくさんの写真を整理しながら、見て、初めて思ったのですが、なんと・・・花卉の数が・・・土地によって違うのですね。・・・なぜか、詳しい方は教えて下さい。立山・白山の「ハクサンイチゲ」はよく見ると「6枚」が多く・・・後立連峰の山は「7枚」・・・写真は1枚しかありませんが・・・、月山の「ハクサンイチゲ」はなんと「8枚」の花弁がありました。立山・剣岳の一带では、6月から8月にかけて全域で見られます。雪解けのまず一番最初・・・残雪のびっしり残る6月でも、日当たりのよい斜面では必ず見られます・・・春の訪れを感じさせる「ハクサンイチゲ」ですが、「夏」ようやく雪解けが終わった場所では、なんと8月、9月までその姿を見ることができます。1年を通して、登山者にさわやかさをプレゼントしてくれる花・・・それが「ハクサンイチゲ」です。

立山・剣岳の花シリーズ

第3弾 「シナノキンバイ」

池ノ平山のシナノキンバイ	池ノ平山のお花畑	シナノキンバイと後立山
		
早月尾根のシナノキンバイ	早春のシナノキンバイ	早春のシナノキンバイ
		
早月尾根のシナノキンバイ	初夏のシナノキンバイ	こんなに大きいのだ
		
立山のシナノキンバイ	初夏のシナノキンバイ	山によって色が違う



立山のシナノキンバイ



初夏のシナノキンバイ



雪解けの後にすぐ咲く花



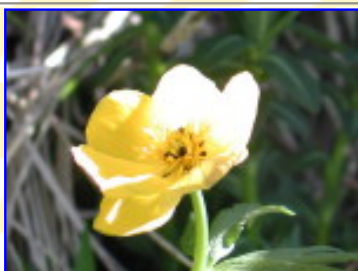
白山のシナノキンバイ



色がどこか違う・・・



輝きが違う・・・



白山のシナノキンバイ



雪渓とシナノキンバイ



白山・観光新道にて



白山のシナノキンバイ



黄金色の輝き・・・



これぞ、シナノキンバイ

